

東京大学大学院人文社会系研究科哲学研究室 主催
グローバルCOE「死生学の展開と組織化」・哲学会 共催

サラ・ヘイネマー博士講演会

日時：2007年11月7日（水）午後3：30～5：30

場所：法文1号館312教室（本郷キャンパス）

講演者：Dr. Sara Heinämaa（サラ・ヘイネマー）

ヘルシンキ大学講師・北欧現象学会会長

講演題目："Phenomenologies of Sexual Difference:
From Fecundity to Generosity"

サラ・ヘイネマー氏は、*Toward a Phenomenology of Sexual Difference: Husserl, Merleau-Ponty, Beauvoir*, 2003の著者で、主としてメルロ＝ポンティとボーヴォワールの哲学を基盤にして性差の問題を現象学的に考えてこられた方です。しかし近年はフッサールの倫理思想にも関心を広げ、今秋の日本現象学会（大阪大学、11月10～11日）では、『改造』論文をテーマにして、フッサールの現象学的倫理学についての特別講演をされる予定です。また最近、ハイデガーにおける死生の問題をレヴィナスの批判と対置しながら研究を進めておられ、今回の講演では、mortality-generativityの問題と絡めつつ、sexual differenceをめぐる考察を展開してくださることになっています。

お問い合わせ先：

東京大学大学院人文社会系研究科哲学研究室

榊原哲也（Tel. 03-5841-3739）